

ヨコハマの国際事業の
主な動きをお届けする

YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 6 月 14 日
【発行】横浜市国際局政策総務課
企画担当 045-671-4710
ki-somu@city.yokohama.jp



【第 37 回横浜開港祭での横浜市国際局のブース出展の様子】

世界のスイーツを横浜で体験できる ガイドマップが完成しました

横浜で食べられる世界各国の様々なおやつ“ソウル・スイーツ”を紹介するガイドマップが完成しました。



市内で地域交流を推進する処デザイン学舎が、多文化共生に取り組む市民活動への国際局の支援事業をもとに作成したものです。海外の食文化を通じて異なる文化に親しみをもち、異国情緒ある横浜の魅力も感じていただける内容となっています。

ガイドマップは、横浜駅、桜木町駅、新横浜駅の各観光案内所や象の鼻パークで配架されています。

多文化共生を推進する 5 件の市民活動への支援を決定しました

横浜市では、ラグビーワールドカップ 2019™や東京 2020 オリンピック・パラリンピックの開催を契機として、多文化共生による創造的社會を実現していくため、「来訪外国人のおもてなし促進」、

「異文化理解の促進」、「在住外国人の活躍推進」に関する、市民団体や NPO 法人等の活動への支援を行っています。

平成 30 年度は 5 件の市民活動への支援が決定しました。詳細は国際局ホームページをご覧ください。

<http://www.city.yokohama.lg.jp/kokusai/multiculture/tabunkaho.jokin.html>

東京 2020 パラリンピック英国代表チーム事前キャンプ覚書締結

横浜市・慶應義塾大学・川崎市は、東京 2020 パラリンピック競技大会における英国パラリンピック代表チームの事前キャンプについて、5 月 24 日に英国パラリンピック委員会との間で覚書を締結しました。



横浜では、すでに契約を締結した英国オリンピック代表チームに加え、英国パラリンピック代表チームも横浜国際プールで事前キャンプを実施することとなります。

この事前キャンプを通じて、パラスポーツの理解を一層深めるとともに、スポーツ分野に限らない文化や経済など幅広い分野の交流もさらに進めていく予定です。

「第 37 回横浜開港祭」にて第 7 回アフリカ開発会議横浜開催を PR しました

6 月 1 日と 2 日に、臨港パーク及びみなとみらい 21 地区、新港地区、その他周辺にて「第 37 回横浜開港祭」が開催され、横浜市国際局がブースを出展して第 7 回アフリカ開発会議横浜開催を PR しました。



ブースでは、アフリカとの交流を紹介するパネルの展示やパンフレットを配布しました。また、公益社団法人 青年海外協力協会のご協力のもと、アフリカ出身者とコミュニケーションをとりながら、子どもから大人まで楽しめるアクティビティ等で数多くの方にアフリカへの理解を深めていただきました。